

事例名 能代宇宙イベントを中核とした地方活性化と人材育成・企業協力
受賞者 能代市
秋田県

事例の概要

2005年より続く「能代宇宙イベント」では、全国の大学生等が単なる「実験者」としてではなく地域や監督官庁との調整にも主体的に関わる事で、未来を切り拓く技術・知識やチャレンジ精神・マネジメント力に加え、社会との調整力を有する人材を育てている。延べ9000名にもおよぶ人材を宇宙分野のみならず日本の各分野に供給し大手・ベンチャーを支えると同時に、地方との交流人口を増加させ、毎年約1500万円もの経済効果を地域に創出している。

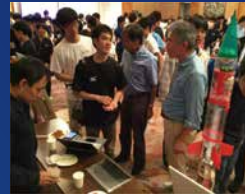
選考委員会講評／受賞のポイント

長年にわたり学生にロケット打上実験の場などを提供し、現在の宇宙産業を牽引する人材育成の場として非常に大きい役割を果たすとともに、普及啓発活動としても成果を出している。

宇宙を利用した町おこしを核に、観光資源として経済効果も生み出すなど地域振興の観点からも優れた成功事例。



<共同実験の様子：陸上から海上に向けて、最高十数kmの打上が可能>



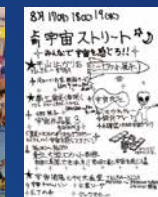
<人材供給>就職協定後の企業と学生のマッチングの場としても、技術交流会や共同実験は活用されている。



<地域交流人口の増加状況>
©北羽新報社



<地域のまちづくりと一体化した取組>



<宇宙教育を通じた地域の教育振興 / 活性化も併せて実施>

ポイント・具体的成果等
1. 宇宙開発利用の新たな領域創造への貢献

能代市と秋田県は全国に先駆けて、「ともすれば危険」にもなりうるロケット等の実験の場を学生に開放。「新たな領域・創造」にチャレンジしたい学生の気持ちを大切にしつつ、自分達で安全に関して充分に考え、周囲の住民や関係各所へきちんと説明しながらコンセンサスの熟成過程を経験することで、学生が安心に関しても学ぶ機会を提供。15年以上にわたり延べ9000名の学生を育て、宇宙以外の分野にも多くの企業や研究機関に人材を輩出してきた。また計画段階も含めて本取組に関わった学生達が、ベンチャー分野で新たな領域創造の中核となる人材に育っている。

2. 宇宙開発利用市場の拡大への貢献

学生が単に実験に参加するだけではなく、地元や関係機関との調整なども全て実施することで、コミュニケーション能力や問題解決能力の醸成に寄与している。また、アクセルスペースの中村社長が立ち上げに関与したり、インターステラテクノロジズの稲川社長以下多くの社員が共同実験参加者として参加したりするなど、本イベントは日本を代表する宇宙ベンチャーの発展にも貢献している。

また都心部では実施不可能な「宇宙教育」の現場として、能代市に交流人口の増加をもたらしており、夏場の時期だけで毎年数百人の学生が1～2週間も滞在することで、その直接的な経済波及効果だけで約1500万円と見積もられている。

3. 産業、生活、行政の高度化及び効率化への貢献

秋田県産業労働部により中小企業地域資源活用促進法に係る地域資源のうち、能代市における観光資源として「能代宇宙イベント」が指定されるなど、観光産業としての効果が認められている。

また能代宇宙イベントを契機とし、能代市の小学6年生全校児童に対して平成23年より毎年小型モデルロケットの打上教室が開催されており教育の高度化にも貢献している。

また秋田県では航空宇宙産業に対する関心も増加し、県庁を中心とした

「秋田輸送機コンソーシアム」も結成され、売上高も120倍の増加を見せている。今後、能代宇宙イベントに参加する学生達と企業との交流を深めることで、これら秋田県の航空宇宙産業への人材供給等も期待できる。

4. 技術への貢献

以下のように技術に貢献している。

- ・ 小型模擬人工衛星や小型ロケットに搭載する電気電子回路の組み込み技術や制御技術
- ・ 係留気球の安全な昇降方法の確立
- ・ 上空の係留気球に対してペイロードのみを安全安定に昇降させる技術
- ・ ドローンを用いた上空からのペイロード放出技術
- ・ 屋外における安全な高圧ガスボンベの取り扱いに関するノウハウと技術
- ・ 小型飛行体を安定して飛行させるために必要となる設計パラメータの絞り込み
- ・ 上空の風向風速の測定技術および予測技術
- ・ 2km以上離れた地点間で2.4GHz帯による安定した通信技術の確立
- ・ 小型ロケットを安全に打ち上げるための審査項目の絞り出しとその評価方法の確立

5. 普及啓発への貢献

能代市での共同実験に関しては、例えば「ロケットガール養成講座」が日本テレビの「真相報道バンキシャ!!!」でも取り上げられるなど、多くの普及啓発効果を上げている。またイベント開催時期には毎年地元紙でも連日一面で取り上げられるなど、普及啓発効果が大きい。能代市の小学6年生には全員、毎年モデルロケット授業も実施されており、地元での教育普及効果も大きい。

また能代市での実験の場の開発を契機に、和歌山市加太、伊豆大島、御宿でも新たな実験の場の開発が進められており、十数校が教育ツールとしてロケット等打上げ実験を行うようになり、大きな教育普及・啓発効果を生んでいる。